

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29401	子ども家庭支援の心理学	後藤 紗織	2年次・後期	講義・2単位	保育士必修

授業の概要 / Course Outline
生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得する。	A-② C-①
・家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得	A-② B-②
・子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題について理解する。	A-② B-②
・子どもの精神保健とその課題について理解する。	A-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	80%	講義で取り上げた用語や考え方、視点について理解度を見る。
レポート試験 Report Examination	0%	
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	20%	リアクションペーパーの内容と発言等の講義への貢献度を総合的に判断する。

教科書 / Textbooks
プリントを配布する。

参考書 / Reference Books
原信夫編著(2019)「子ども家庭支援の心理学」北樹出版

予習・復習 / Preparation・Review
予習:授業スケジュールで示した授業内容についてプリントを熟読し、疑問点を整理する。 復習:授業時に解説したポイントを簡単に説明できるようにする。(予習復習の時間は90分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
期末試験の採点結果は、Google Classroomにより伝達する。

特記事項 / Special Note

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション
	発達段階における特徴, 家族・家庭環境の特徴など15回にわたる授業の概要を説明する
02	発達段階について①
	乳幼児期から学童期にかけての発達について, その特徴を理解する。
03	発達段階について②
	思春期から青年期にかけての発達について, その特徴を理解する。
04	発達段階について③
	成人期から高齢期にかけての発達について, その特徴を理解する。
05	家族・家庭の意義と機能
	家族・家庭の意義と機能について理解する。
06	親子関係・家族関係の理解
	親子関係をみる視点, 家族の発達過程について理解する。
07	子育て経験と親としての育ち
	親として発達すること, 親機能について理解し, 親としての発達の特徴を学ぶ。
08	子育てを取り巻く社会的状況
	戦後から現代にいたるまでの家族のあり方の変遷をたどり, それぞれの時代における特徴を理解する。
09	ライフコースと仕事・子育て
	ライフコースの考え方と現代の特徴を学び, 子育て期におけるワークライフバランスの課題について理解する。
10	多様な家庭とその理解
	子育てをめぐる現代的課題としてひとり親家庭, 育児不安, 育児支援の得にくい共働き家庭の特徴を理解する。
11	特別な配慮を必要とする家庭への支援①
	貧困家庭, 虐待の疑いのある家庭の状況と, 具体的支援のあり方, ポイントについて理解する。
12	特別な配慮を必要とする家庭への支援②
	親が精神障害や疾病を抱える家庭, 外国にルーツをもつ家庭の状況と, 具体的支援のあり方, ポイントについて理解する。
13	子どもの生活・成育環境とその影響
	子どもの心に関する基礎知識を理解し, 子どもの心の発達に影響する要因を学ぶ。
14	子どもの心の健康に関わる問題
	発達の障害の種類とそれぞれの特徴について理解し, それを踏まえた対応の仕方について学ぶ。
15	講義のまとめ
	これまでの講義を振り返り, 大切なポイントの確認と補足を行う。